

3 類型	鉱工業品	通巻番号	6 - 21 - 005
地域資源名	鳥取の日本酒	認定日	平成21年 9月30日
地 域	鳥取県東伯郡北栄町	所管省庁	財務省・農林水産省・経済産業省

事業名：梅酒用の日本酒に完熟の大梅を2年以上漬け込んだ、良熟梅酒の販路拡大及び新商品の開発・販売促進

会社名：梅津酒造有限会社

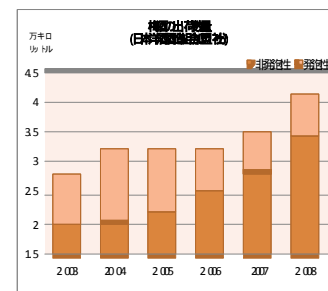
所在地：鳥取県東伯郡北栄町大谷1350

連絡先：TEL：0858-37-2008
FAX：0858-37-2023

H P：http://www.toriton.or.jp/~sake/

事業概要(新たな活用の視点)

- ・当社は、独自の醸造技術によりアルコール度数20度以上の梅酒用日本酒を開発し販売。平成17年には、それに大粒で肉厚の「野花豊後(のきょうぶんご)」梅の完熟した果実を漬け込んだ梅酒を商品化し、良熟梅酒「野花」として販売開始。
- ・本事業では、特別栽培された「山田錦」で仕込んだ日本酒に完熟梅を2年以上漬け込み熟成させた良熟梅酒の国内外への販路拡大に取り組む。更に、梅酒用日本酒を日本古来の「生もとづくり」により製造したものや漬け込んだ梅果実を粉碎・搾汁した新タイプの梅酒を開発し、販売開拓を図る。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・最近では日本酒に漬け込んだ梅酒は珍しくないが、梅酒用に開発したアルコール度数20度以上の日本酒に漬け込んで、2年間熟成させた梅酒は全国的にも稀であり、新たに開発する「生もとづくり」の日本酒ベースの良熟梅酒及び漬込み後の果実から搾汁した梅酒は更に希少性が高まり、他社との差別化が図れる。

市場性

- ・リキュール、特に梅酒の需要は着実に伸びている。本商品は完熟の梅を日本酒に漬け込んで、2年間熟成させることにより円やかで芳醇な味わいとなり、食中酒としての需要が見込める。

販路

- ・これまでは、県内小売店を中心に販売してきたが、本事業を契機にネット販売等にも力を入れて、県外・海外市場を視野に入れた販売を展開する。



地域資源における関係事業者との連携

- ・優良な原料を安定的に確保するため、特裁米生産者の田中農場、湯梨浜町の「野花豊後」の生産者及びJAとの連携を強化する。

